



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユニカフェ
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩田 斉
 (氏名) 長縄 明彦

TEL 03-5400-5444

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,312	6.1	374	△29.4	392	△27.5	382	△29.6
27年3月期第3四半期	7,835	△12.0	531	△18.9	541	△24.1	543	△1.6

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 324百万円 (△39.1%) 27年3月期第3四半期 532百万円 (△19.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	27.64	—
27年3月期第3四半期	39.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	11,370	7,589	66.7
27年3月期	10,103	7,375	73.0

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 7,589百万円 27年3月期 7,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,072	8.7	650	△0.7	669	△0.4	524	51.2	37.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	13,869,200 株	27年3月期	13,869,200 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	28,170 株	27年3月期	27,720 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	13,841,166 株	27年3月期3Q	13,841,894 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期報告書の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日までの9ヶ月間）における当社グループを取り巻く環境は、インバウンド需要を下支えに、政府の経済対策による輸出型企業を中心とした企業収益の改善や、株式相場の上昇などの緩やかな景気回復の動きが見られました。一方で、中国経済の減速など海外景気に対する不安感や、円安進行による原材料価格の上昇など、国内景気の下振れが懸念されております。

このような状況の中、レギュラーコーヒー業界につきましては、コンビニエンスストアのカウンターコーヒーにより新たなレギュラーコーヒーブームに火が付き、我が国のレギュラーコーヒーの需要が直近2年連続で史上最高を更新するなどそのおいしさが消費者のあらゆる生活シーンに浸透しつつあります。それに加えサードウェーブや一杯抽出コーヒーシステム等が登場し、豆の産地、焙煎、ブレンド、抽出にまでこだわる本格志向の消費者から簡便性を重視する消費者までニーズは多様化しており、更にあらゆる業種、業態でコーヒーが集客力を高める戦略商品であると注目され、その提供場所が広がっております。

当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、前年と比べ、低い水準で推移しており、今後低位安定に推移すると思われまます。

このような経営環境の下、当社グループは、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、「T=Transformation=変革」「I=Innovation=革新」「C=Challenge=挑戦」の「TIC」を新たなキーワードとして収益構造の改善と内部統制の強化に注力するとともに、「飲むことを楽しむ」というコーヒーの新たな価値「Fun to Drink」をテーマとし「その上のコーヒー」を常に追い続け、チャレンジを続けております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 「コーヒー関連事業」

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの取扱数量の増加によるシェアの拡大に注力しました。業務用コーヒー・家庭用コーヒーの分野におきましては、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力し、取扱数量増加に向けて、新規取引先の開拓と既存取引先に対する新製品提案を推進しました。

工業用コーヒーにつきましては、一部の主要取引先における取扱数量が、当第3四半期連結会計期間においても低調に推移した結果、その他の主要取引先における取扱数量で補うことができず、当第3四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を下回りました。

業務用コーヒーにつきましては、主要取引先のカフェチェーンなどにおける取扱数量が好調に推移した結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、前年を上回りました。

家庭用コーヒーにつきましては、第2四半期連結累計期間に引き続き、NB・PB製品販売を中心に主要取引先における取扱数量が好調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を大きく上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は80億98百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

利益面では、生産工程の効率化と販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、取扱数量の減少に伴い固定費の割合が増加した結果、営業利益は3億45百万円（前年同期比29.8%減）となりました。

② 「パルプモールド事業」

「パルプモールド事業」につきましては、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2億14百万円（前年同期比5.2%増）となりました。利益面では、原料コスト及び人件費が増加した結果、営業利益は、29百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

なお、平成27年12月15日開催の取締役会において、上海緑一企業有限公司の出資持分の全部をUCC上島珈琲株式会社（登記簿上は、ユーシーシー上島珈琲株式会社）に譲渡する決議を行い同年12月16日にUCC上島珈琲株式会社と譲渡に関する契約を締結いたしました。詳細については、平成27年12月15日公表の子会社の異動（出資持分譲渡）及び特別利益の発生に関するお知らせをご参照ください。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は83億12百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は3億74百万円（前年同期比29.4%減）、経常利益は3億92百万円（前年同期比27.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億82百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比12億66百万円増加し、113億70百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が15億83百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が10億35百万円、受取手形及び売掛金が5億13百万円増加したことによります。また、固定資産が3億16百万円減少いたしました。その主な要因は、有形固定資産が1億44百万円、投資有価証券が71百万円、破産更生債権等が31億90百万円、貸倒引当金が30億98百万円減少したことによります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比10億53百万円増加し、37億81百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が10億76百万円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等が86百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が11億47百万円増加したことによります。また、固定負債が23百万円減少いたしました。その主な要因は、繰延税金負債が23百万円減少したことによります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比2億13百万円増加し、75億89百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は66.7%となり、前連結会計年度末比6.3ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,163	2,519,961
受取手形及び売掛金	1,891,389	2,405,255
商品及び製品	171,870	161,572
仕掛品	19,234	12,282
原材料及び貯蔵品	255,718	309,121
繰延税金資産	142,323	142,323
短期貸付金	1,000,000	1,000,000
その他	57,077	54,567
貸倒引当金	△264	△344
流動資産合計	5,021,513	6,604,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,171,092	4,179,846
減価償却累計額	△1,737,977	△1,820,999
減損損失累計額	△228,885	△224,506
建物及び構築物（純額）	2,204,229	2,134,339
機械装置及び運搬具	3,737,338	3,691,053
減価償却累計額	△2,897,710	△2,929,054
減損損失累計額	△219,617	△215,415
機械装置及び運搬具（純額）	620,010	546,583
土地	1,639,318	1,639,318
その他	249,068	234,151
減価償却累計額	△207,639	△194,305
減損損失累計額	△1,966	△1,929
その他（純額）	39,461	37,917
有形固定資産合計	4,503,019	4,358,158
無形固定資産		
ソフトウェア	14,822	11,076
その他	116,778	112,284
無形固定資産合計	131,601	123,361
投資その他の資産		
投資有価証券	326,211	254,867
破産更生債権等	3,981,639	790,690
その他	44,584	44,584
貸倒引当金	△3,904,855	△805,907
投資その他の資産合計	447,579	284,234
固定資産合計	5,082,201	4,765,754
資産合計	10,103,714	11,370,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,740,408	2,887,449
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	90,431	3,962
賞与引当金	47,166	22,245
その他	310,456	351,580
流動負債合計	2,648,462	3,725,238
固定負債		
繰延税金負債	62,770	39,533
その他	16,716	16,716
固定負債合計	79,486	56,250
負債合計	2,727,948	3,781,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	1,945,348	2,217,212
自己株式	△39,953	△40,362
株主資本合計	7,142,694	7,414,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,564	82,862
為替換算調整勘定	101,506	91,994
その他の包括利益累計額合計	233,071	174,856
純資産合計	7,375,765	7,589,005
負債純資産合計	10,103,714	11,370,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	7,835,589	8,312,869
売上原価	6,169,465	6,789,645
売上総利益	1,666,124	1,523,223
販売費及び一般管理費	1,134,890	1,148,245
営業利益	531,233	374,978
営業外収益		
受取利息	1,727	2,546
受取配当金	1,279	1,388
受取家賃	6,179	6,451
その他	7,047	9,127
営業外収益合計	16,233	19,513
営業外費用		
支払利息	2,245	2,183
為替差損	3,901	—
その他	246	267
営業外費用合計	6,393	2,450
経常利益	541,072	392,040
特別利益		
投資有価証券売却益	72,604	—
特別利益合計	72,604	—
特別損失		
固定資産除却損	727	3,603
特別損失合計	727	3,603
税金等調整前四半期純利益	612,949	388,436
法人税、住民税及び事業税	69,865	5,840
法人税等合計	69,865	5,840
四半期純利益	543,083	382,596
親会社株主に帰属する四半期純利益	543,083	382,596

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	543,083	382,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,054	△48,702
為替換算調整勘定	10,737	△9,512
その他の包括利益合計	△10,316	△58,214
四半期包括利益	532,766	324,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	532,766	324,381
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。